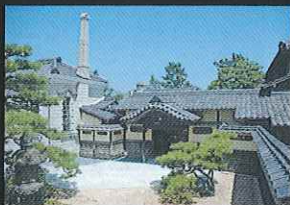


石炭王の美学に迷い込んでみる。



国指定重要文化財・旧高取家住宅

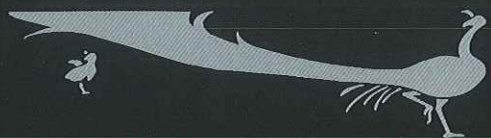
旧高取邸



唐津

国指定重要文化財・旧高取家住宅

「旧高取邸」



旧高取邸は、杵島炭鉱などの炭鉱主として知られる高取伊好（たかとりこれよし：1850～1927）の邸宅です。唐津城本丸の西南の海岸沿い、約2300坪といわれる広大な敷地に、大きく2棟の建物が建っています。平成6年～平成7年に国の近代和風建築総合調査でその重要性が確認され、平成10年12月に国の重要文化財の指定を受けました。和風を基調としながら洋間を持つなど同時代の邸宅の特色を備える一方、大広間に能舞台を設けるなど独特のつくりになっています。また、杉戸絵、欄間等の意匠にも見どころが多いのが特徴です。

OPEN

午前9時30分～午後5時（入館は午後4時30分まで）
月曜休館（月曜日が祝祭日の場合は開館、翌日休館）

入館料

一般（15歳以上）	520円
小・中学生	260円
団体（20名以上）2割引	
音声ガイドシステム利用料	310円

お問合せ

旧高取邸 0955-75-0289

※入館者は1時間駐車料金無料



アクセス

佐賀県唐津市北城内5番40号

- JR筑肥線「唐津駅」下車、唐津市内循環バス「城内二の門」下車徒歩5分
- 福岡から呼子方面へ旧高取邸入口右折



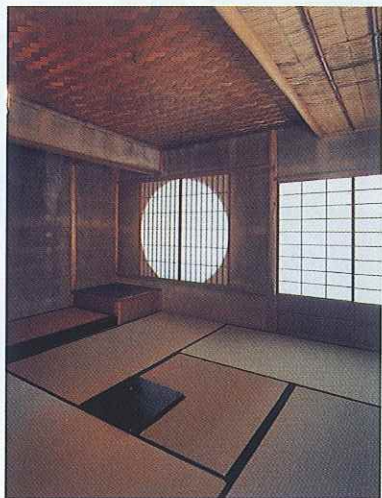
旧高取邸上空より



洋間



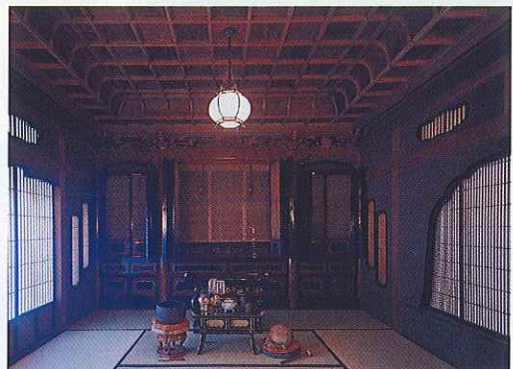
ランプシェード



茶室



家族湯殿



書齋



書齋



二階大広間



七宝焼の引戸金具